

ENGINE 03

エンジン No.186
Mar.2016
定価
980yen

巻頭特集

2台持って、ガレージもあったら、 クルマはもっと楽しい!

特別レポート: 新型メルセデス・ベンツEクラスも登場したデトロイト・モーターショウ

国内試乗: ランボルギーニ・アヴェンタドールSV / ボルシェ・ボクスター・スパイダー / アルファ4Cスパイダー /
メルセデス・ベンツC350e / 新型スマート・フォーフォー / 新型トヨタ・プリウス

中古車探検隊: 初夢企画! 500万円で買える掘り出しモノを探せ!!

時計: 年頭スペシャル企画、はじめの1本! “50万円までで手が届く時計選び”

ファッション: 春、一番乗り! 注目のアイテムはこれだ!!





styling: TOMOKI SUKEZANE
photo: JUNJI HATA
hair: HIRO TSUKUI
make-up: SADA ITO
model: BEN
car: JAGUAR E-TYPE

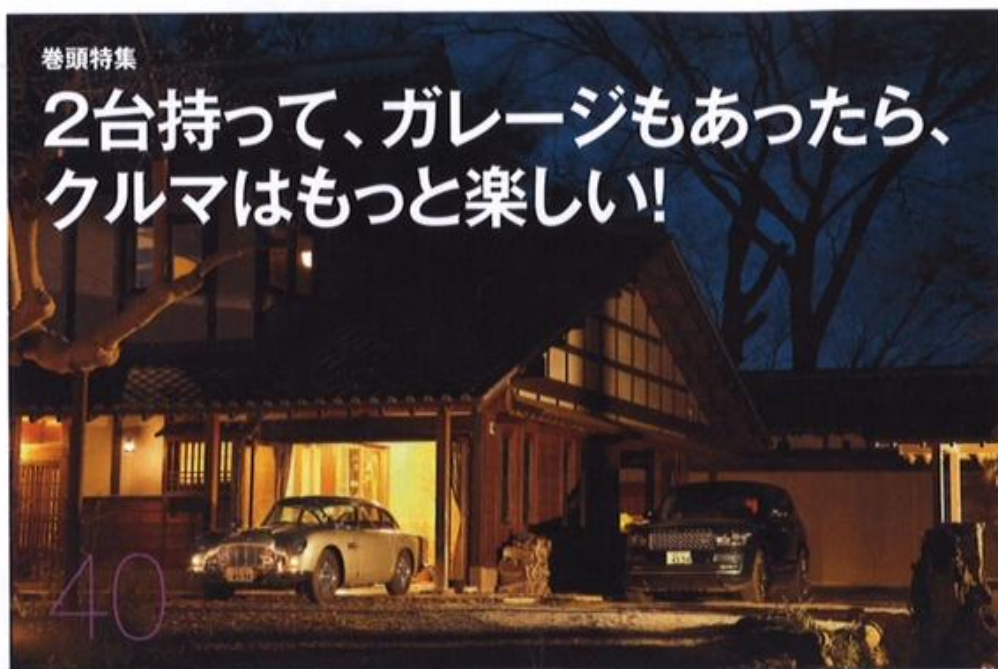
ジャケット26万3000円、パンツ9万円、
シャツ4万5000円、ボウタイ4万9000円、
サングラス6万6000円、ブレスレット11万2000円
(すべてグッチ/グッチ ジャパン カスタマーサービス
Tel.0120-88-1921) ※価格はすべて税別。

車両協力=林 幸泰

CONTENTS 1

巻頭特集

2台持って、ガレージもあったら、 クルマはもっと楽しい!



第1部 オーナー取材篇

- 42 その① 麗らしく小民家の母屋に設けられた村木和夫さんのガレージに収まるアストン・マーティンDB5ヴァンティッジと、全国を駆け回るレンジ・ローバー。
居間から眺めるアストン・マーティン。
- 48 その② 海の見える高台にトライアンフTR3A(1959)、ボルシェ356SC(1964)、ほか3台を並べる“フラット4”代表、小森 隆さん。
こだわりと愛が満ちた秘密基地
- 54 その③ 2階から愛車が眺められる室木貴行さんのガレージ・ハウスに収まったランボルギーニ・ガヤルド・スパイダーとボルシェ911。
玄関を開けると、スーパーカー。
- 60 その④ 友人が設計したガレージにオースティン・ヒーレー・スプライト(1960)とジャガーEタイプ(1962)を並べるエディトリアル・デザイナー、白石良一さん。
ヴィンテージが詰まった宝箱
- 66 その⑤ 自らデザインしたガレージ・ハウスでアルファGTとホンダS2000、それにKTMのモーターサイクルと暮らす東京・練馬区的设计士、千石達也さん。
大切なのは、操る実感があること。
- 72 その⑥ 京都の閑静な住宅地に建てられたガレージ・ハウスでアルピーヌA110とボルシェ911カレラRSとの自動車趣味を満喫する松田慎司さん。
エンジニアの作ったガレージ・ハウス。

78 その⑦ 関西のどの角度からも愛車が見られるターンテーブル付きガレージ・ハウスでフェラーリF12ベルリネッタ、アウディR8と暮らすSさん。
似たもの夫婦のこだわりの結晶。

84 その⑧ ここはディズニー・シーの一角と錯覚するような佐々木 進さんのガレージにはメルセデス・ベンツ280SLとミニが潜んでいる。
古いモノの世界にどっぷり。

第2部 ENGINE HOUSE SPECIAL 素敵なガレージ・ハウス図鑑。

- 90 #1 フェラーリ360モデナがある、海の見える湘南の家。
休日を楽しんで過ごす。
- 94 #2 ボルシェ・ケイマンで通う南房総の別荘。
灯りが美しい海辺の家。
- 98 #3 シトロエンSMとランチア・イプシロン、そしてマゼラーティ・ギブリがある前橋の家。
マゼラーティが縁でできた家。
- 102 #4 コスモ・スポーツとトヨタ2000GTレプリカが納まる名古屋の住宅。
できないと思っていたことが、すべて実現できた家。
- 106 第2部の付録
ガレージ・ハウスもつくる
クルマ好き建築家たち。

112 エンジン中古車探検隊が行く!!
2016 初夢企画!
1960、1980、2000年代を代表する
スポーツカーが買える!
500万円で買える掘り出しモノを探せ

ENGINE ROAD TEST SPECIAL

- 118 #1 アヴェンタドールよりさらに速いアヴェンタドール、SVに試乗した!
キング・オブ・スーパーカー
- 126 #2 幌にカイゼンを加えて再登場したポクスター・スパイダーに試乗した。
これぞスポーツカーだ!
- 132 #3 アルファ4Cのタルガ・トップ版に、ついに日本で試乗できた!
屋根が取れるんです。

ENGINE

CONTENTS 2

32 セクシーな車とエレガントな男……、
スタイリスト・祐真朋樹の提案!
乗る車×着る服 #63
Jaguar E-type × GUCCI



154 Fashion Feature:
New Arrivals Spring Summer 2016
春、一番乗り! 注目アイテムはコレだ!!
New Arrivals

154



164 ENGINE WATCH CLUB
年頭スペシャル企画!
50万円まで手が届く時計選び
はじめての1本!



170 WATCH NEWS
ハリー・ウィンストンの「オーパス 14」が日本上陸!
14作目は「ジュークボックス」!?

36 ENGINE SPECIAL REPORT
ジャガーとランドローバーの2台の
スポーツ・モデルに乗る。
550psの強心臓を積んだ、
2台の英国紳士。



ENGINE ROAD TEST

138 #1 メルセデスCクラスに
プラグイン・ハイブリッドが加わった。
大排気量エンジンよ、さようなら。

140 #2 リア・エンジンの
4人乗りスマートに試乗した。
期待を超えていた。

142 #3 トヨタの最重要車種、新型プリウスが発売。
フツーにいいクルマになりました。

144 North American International
Auto Show
北米国際自動車ショー2016
新型メルセデス・ベンツ
Eクラス登場!



150 TEST ON THE SNOW
マツダの4WDを体験する
北海道試乗会に参加してきた。
マツダだからできたこと。

152 ENGINE RECOMMENDED SPECIAL
日産のプレミアム・セダン、スカイラインと
フォーガに特別仕様車、
「クール エクスクルーシブ」が登場。
美しいプレミアム・サルーンに
乗りたい。

森羅万象を斬る「ENGINE beat」

- 17 「空飛ぶクルマ」は夢物語か?
- 19 モノづくりの街、蔵前を歩く!
- 21 2015年の輸入車登録台数1位は?
- 23 17世紀オランダから届いた「光」
- 25 中華は「地方料理」が美味しい!
- 27 映画「オデッセイ」
- 29 音楽 グラミー賞で旋風を巻き起こすのは?

今月の注目!

- 31 プガッティの世界。

12 ENGINE GALLERY
人とクルマのいい関係を求めて 第46回
ニューヨークのメタリックな輝き

172 祐真朋樹、銘品を語る。
Oh! My Standard 第31回
トラベルケース

174 DJ DRAGONのヴィンテージを探して 第12回
ギブソン185
美しさとパワー

176 クルマは音楽だ! 第14回
インコグニートのブルーイさんとミニ・クラブマン
音楽は人をひとつにする!

178 連載:最新ドイツ、クルマの常識・非常識 第50回
2016年のドイツ自動車業界を展望する。

186 エンジン長期テスト・レポートNo.186

193 INTELLIGENCE

194 FROM ENGINE ROOM

ENGINE名物! CAROPEDIA

- 179 ランボルギーニ・ウラカンLP580-2が登場!
- 180 イタリア篇 アルファ4Cのワンオフ・モデルが手に入る。
- 181 イギリス篇 ジャガーFタイプ限定車が登場。etc.
- 182 ドイツ篇 BMW X4にM40iが加わった。etc.
フランス篇 誕生2周年を記念したキャプチャーの限定
- 184 アメリカ篇 コルベットZ06の純正アフター・パーツ発表
- 185 日本篇 国内最大の自動車イベント、
オートサロンに行ってきた。etc.



Jaguar E-Type

Eタイプは1961年にジュネーブ・モーターショーで発表。以後、1975年の製造中止まで、13年間で約7万台が生産され、そのうち約60%が米国に輸出された。極限まで長くエレガントなボンネットを持つ美しいデザインは、かのエンツォ・フェラーリに「世界で最も美しい車」と言わしめたほど。3代目となる現オーナーによると、表紙で見ることができるボンネット上の英国のナンバープレート・ステッカーは新車時から同じものだという。

GUCCI

独特の光沢感がある極上の羊革で仕立てられたジャケット。ラベルなど端の部分を細かくツイル生地でパイピングしているのが特徴。また、ライニングに黒地に細かな白ドットをさり気なくプリント。洒落た大人の遊び心だ。レザー・ジャケット64万8000円、シャツ5万7000円、トラウザーズ9万9000円、ベルト8万7000円、サングラス6万6000円(すべてグッチ/グッチ ジャパン カスタマーサービスTel.0120-88-1921)※価格はすべて税別。



セクシーな車とエレガントな男……、スタイリスト・橋本朋樹の提案!

乗る車 × 着る服

ENGINE CAR × FASHION

今回のクルマは1961年に登場した、ジャガーを象徴するアイコンであるEタイプ。その流麗なデザインに合わせたのは、ウールモヘア素材を使用したグッチのスーツ「アルペリーニ」。着丈の短いジャケットとルーズなパンツという組み合わせは、クリエイティブ・ディレクターのアレクサンドロ・ミケーラらしいコンテンポラリーで若々しい仕上がり。クルマとスーツのカラー・トーンを合わせた小粋な大人の洒落心だ。

写真=金 抄司 スタイルンク=橋本朋樹 ヘア=HIRO TSUKUI メイク=伊藤真文 モデル=KEN 車両協力=祥 幸信

スーツ41万4000円、シャツ6万5000円、ネクタイ2万2000円、左手のリング3万8000円、ヘルム4万3000円、シューズ12万6000円(すべてグッチ/グッチ ジャパン カスタマーサービスTel.0120-88-1821)

#63 Jaguar E-Type
× GUCCI